

久留米市文化章受賞 藤井フミヤさん

久留米市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年は兄弟ユニット「F-BLOOD」で全国ツアーを行い、
兄弟で懐かしい久留米話でよく盛り上がりました。
私は20年間、弟の尚之は18年間の歳月を久留米で過ごしました。
多感な青春時代の思い出というものは、
どれだけ月日が経とうと消えることはありません。
僕らの青春時代だった昭和の久留米は、
西鉄久留米駅近辺が若者のメッカでした。
今でも帰郷すると、駅から一番街辺りをぶらりと歩いてみます。
あの頃にあった店はもうほとんどありませんが、
忘れかけていた思い出が突然よみがえったりするのです。
帰郷する理由は、思い出が消えないようにするためなのかもしれません。
筑後川を渡り、高良山を眺めると今でも心がほっとほころびます。
そんな場所は、地球上に久留米しかないのです。
今年は久留米に何回くらい行けるだろうか。何度も行けたらいいなあ。
久留米の皆さん！今年もよろしくお祈りします！



久留米の皆さんへ

久留米ふるさと特別大使 田中麗奈さん

明けましておめでとうございます。
昨年は、東京新橋にオープンしたアンテナショップ「福岡 久留米館」
の開館記念イベントに参加させていただきました。想像以上にたくさん
の人がご来場くださいました。久留米圏域が誇る魅力的な特産品が販
売されていて、久留米を身近に感じられるとてもすてきな空間でした。
また2017年、私の活動としましては、連続ドラマ「真昼の悪魔」
や「アキラとあきら」、劇団☆新感線「觸籠城の七人 Season 風」に出
演しました。そして、映画「幼な子われらに生まれ」では大変素晴らしい賞をいただくなど、とても実りのある一年を過ごすことができました。
これもひとえにいつも応援して下さる久留米の皆様のおかげ
だと、心から感謝しております。
久留米ふるさと特別大使に就任して8年目。今年も大好きな「ふる
さと久留米」の魅力を、たくさんの人に伝えていきたいと思っています。
皆様にとって2018年が良い年になりますよう、心からお祈りいたし
ます。
本年もよろしくお祈りいたします。



小森野橋から望む朝日

年頭に当たり 大きな可能性を未来へ

久留米市長
榎原利則

希望あふれる、明るい新年をお迎えのこと
と、心からお慶び申し上げます。
久留米市は、豊かな自然、ものづくりの伝統、
多彩な食、充実した医療、個性豊かな文化芸
術など、優れた地域資源にあふれています。
これらを生かし、「人 安心 活カ」を基本に、
日本一住みやすいまちの実現にまい進してき
ました。

一人ひとりを大切にすまち

少子高齢化や格差社会の解決には、新たな
施策の展開が必要です。昨年、「こども育
てサポートセンター」を開設。切れ目のな
い対応を実現しました。高齢の人、障害の
ある人など、厳しい状況の人への支援にも
力を入れています。特に若い世代の就職や結
婚、子育てなどの希望がかなうまちを目指
しています。

災害に強い、安全・安心なまち

久留米市は、中核市や九州の自治体で初め
てセーフコミュニティの国際認証を受け、5
年目の今年、その更新を目指します。
近年、熊本地震、九州北部豪雨と大規模災
害が続発。「安全・安心」に、ハードとソフト
両面で備えます。昨年、雨水貯留施設を完成、
東櫛原地区の浸水対策をしました。公共施設

の耐震化や防災機能強化、地域防災計画の見
直しや自主防災組織づくりも進んでいます。
人々が行き交う、活カあるまち

キラリ創生総合戦略の柱である、特長を生
かした農工商業の元気づくりに向け、立地環境
の整備や企業誘致、創業支援などに力を入れま
した。農業産出額は県内第1位を更新。ますま
す充実しています。文化芸術・交流の拠点とし
て久留米シティプラザや市美術館は、多くの皆
さんに来場いただいています。6月には(仮称)
スポーツセンター体育館がオープン予定です。

昨年、野村総合研究所が発表した成長可能
性都市ランキングのポテンシャル部門で久留
米市は全国第5位の評価を受けました。久留
米市の未来は、大きな可能性を秘めています。

希望がかなう、市民協働のまち

誇りと愛着の持てる「日本一住みやすいま
ち・久留米」の実現には、これまでの取り組
みを継続・発展させる必要があると考えます。
それには、皆さんの理解と協力の下、市民協
働が不可欠です。幸福を実感でき、希望が
かなうまちを築くため市民の皆様のご支援とご
協力をお願いします。
年頭に当たり、皆様のご健康とご多幸を心
からお祈りします。